

一般社団法人

# 千葉県言語聴覚士会ニュース



NO. 48 2015年7月25日

## 目次

会長挨拶	1	施設紹介	11
新役員紹介	2	臨床こぼれ話	12
第4回総会報告	3	ひとくちコラム	13
理事会より	4	各委員会・作業部会から	14
学術局より	6	事務局から	15
訪問リハ・地域リーダー会議報告	9	理事会・委員会等議事録	17

## ◇ 会長あいさつ ◇

「社会の変化～支える力を身につけた専門職をめざして～」

吉田 浩滋（鎌ヶ谷市こども発達センター）

会員の皆様におかれましては、さまざまに変わる制度や多忙をきわめる業務に加え、仕事と家庭の両立等が求められる厳しい状況のなかで一般社団法人千葉県言語聴覚士会のもとに集まっていたいておりますこと、冒頭に感謝申し上げます。

このたび、会長として4期目を努めさせていただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。この間、念願でありました県内唯一となる言語聴覚士養成課程をもつ大学の開校が見えてきました。千葉県の障害者計画策定に関与することもできましたし、言語聴覚士を目指す高校生、社会人への取り組みなどを具体化させる動きも、少しずつではありますが始まってきております。

関係する領域に目をむけると、2025年を見据えた地域包括ケアシステムの基盤づくりもあちこちで見られ、言語聴覚士としての関わりを求められるようになってきております。すでに地域リハ活動支援推進に関連した研修等の要請を受けた施設もあれば、その取り組みに向けた準備を始めようとしている自治体も出てきております。

このような中で千葉県士会は、これまで言語聴覚士の資質の向上を目指して取り組みを行っておりますが、今後、言語聴覚士に求められる資質のなかに地域をマネジメントする力も求められると思いますし、地域で人々の間に繋がりを構築する仕事の一翼を担うことも求められるようになるでしょう。これらは難しいことだとは思いますが、今、言語聴覚士へ求められるものは増えることはあっても減ることはないであろうと考えております。

そのなかで、どうしても避けて通れないのが人材の育成です。今は職場の仕事、責任だけを全うすることで精一杯かもしれませんが、さらに職場の外にもさまざまなニーズが生まれ、その対応が、みなさんの職場に求められるのは必定です。

子育て等で一時的に職場を離れざるをえないという状況もあるかもしれませんが、それでも、言語聴覚

士としての役割を果たしたい、という意識をお持ちいただきたい。なぜなら、地域から言語聴覚士に求められる役割は多岐にわたっているからです。

そのとき、是非、怯まず、その課題に向き合ってください。わからないことがあれば、県士会の問い合わせ窓口にメールで思いをお寄せください。私たち理事会一同は、みなさんの声に応える、その声を活かす活動をすすめていきます。

今期は、一人ひとりの会員が将来を展望し、力を発揮できる、力のある言語聴覚士になれるような活動を展開していきますので、今後とも会員の皆様のご支持をお願い致します。

## ♪ 新役員紹介 ♪

平成 27 年 5 月 24 日（日）に開催されました一般社団法人千葉県言語聴覚士会 第 4 回総会において、皆さまから承認されました新しい役員の方々を紹介します。

### 【副会長】岩本 明子（千葉労災病院）：社会局 渉外部

渉外部とリハ公開講座を担当いたします。関連諸機関や他団体との連携を深めると同時に、S Tとしての存在感を示すことができるような活動に努めたいと考えています。皆様のご協力お願いいたします。

### 【副会長】酒井 譲（順天堂大学医学部附属浦安病院）：学術局

学術局と摂食嚥下委員会を担当いたします。学術局では充実した研修会の企画運営を、摂食嚥下委員会では会員の皆様のお役に立つような情報発信に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【副会長】金子 義信（君津中央病院）：社会局 職能部

社会局職能部と小児言語委員会を担当させていただきます。職能部では待遇改善や働きやすい環境作りへの提案ができるよう、情報収集や発信をしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【理事】阿部 翠（千葉大学医学部附属病院）：事務局 総務部

事務局総務部と生涯学習プログラム作業部会を担当いたします。新米ですが、県士会の活動に力を尽く所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【理事】小野 幸男（野田病院）：学術局

学術局と介護保険委員会を担当いたします。学術局と介護保険委員会共に会員の皆様のお役に立ち、少しでも多くの方が参加されるよう研修会の企画運営を努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【理事】治田 寛之（東邦大学医療センター佐倉病院）：事務局 財務部

財務部と高次脳機能障害委員会、認知症専門職研修実行委員会を担当します。目指すは年会費未納ゼロです！皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。委員会では実りある研修会を企画していきたいと思ひます。

【理事】平山 淳一（旭神経内科リハビリテーション病院）：事務局 編集部

編集部と災害リハビリテーション委員会を担当いたします。災害に備えた情報提供や体制作りなど、皆様に少しでも有益な情報をお届けできるよう尽力致します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【理事】宮崎 寛夫（千葉県東葛飾障害者相談センター）：社会局 広報部・職能部

社会局広報部と職能部を担当させていただきます。ホームページやツイッターを通して逸早く情報を提供できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ★★ 一般社団法人千葉県言語聴覚士会 ★★

### ★★ 第4回総会報告 ★★

平成27年5月24日（日）、第4回一般社団法人千葉県言語聴覚士会定時総会が開催されました。会員の皆様のご協力により、議事を円滑に進めることができました。ご協力に感謝いたしますとともに、総会の概要をご報告いたします。

日時：平成27年5月24日（日曜日） 13時00分～13時45分

場所：千葉市民会館 3階 特別会議室2

議長：斉藤 公人（千葉市療育センター）

副議長：木下 亜紀（のぞみ発達クリニック）

書記：今泉 利江子（千葉新都市ラーバンクリニック）

宮阪 美穂（東京医薬専門学校）

会員数及び出席者数：議決権のある会員総数 352名

出席会員数 186名（当日出席31名、議長委任155名）

#### I. 協議事項

1. 第1号議事 平成26年度活動報告に関する件
2. 第2号議事 平成26年度決算報告に関する件
3. 第3号議事 平成26年度監査報告に関する件
4. 第4号議事 新役員の承認に関する件
5. 第5号議事 平成27年度活動計画案に関する件
6. 第6号議事 平成27年度予算に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。

#### II. 報告事項

- ・規則の改正に関する件

以上の件が報告されました。

（総務部 阿部 翠）

## ◇ 理事会より ◇

### ●○○○ PT・OT・ST県士会連携の動きについて ○●○○

渉外部 岩本 明子

災害リハビリテーション委員会 平山 淳一

医療の現場では、一人の患者さんについて、関連する専門職が情報を共有し意見を述べ合い、目標や方向性を決めて治療やリハビリを行う「チーム医療」が行われています。同様に、STが関与する県内の諸問題への対応においても、多職種との連携・協働が待ったなしで進んでいます。

今年は2015年。団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者となる2025年まで、あと10年となりました。特に、千葉県は急速な高齢化、特に後期高齢者の増加が予想されています。このような状況の中で、地域包括ケアシステム構築を含めた地域リハビリテーションの活動の推進、介護予防への取り組みが、STにも求められています。

4月12日、田町カンファレンスセンターにて、全国のPT・OT・STの県士会会長が出席して、リハビリテーション専門職協議会主催の「合同都道府県士会会長会議」が開催されました。この会議では、各県ごとにPT・OT・STの3士会共同で、地域リハビリテーション活動支援事業の担い手を養成するための研修の実施や、対応窓口の設置の要請がありました。

これを受けて、5月10日千葉市生涯学習センターにて、千葉県理学療法士会、千葉県作業療法士会、千葉県言語聴覚士会の役員が集まって、合同の3士会会議を行いました。今まで、会長副会長間の会議は行っていましたが、3士会の理事・監事が一堂に会したのは初めてです。当会からも、新理事を含め7名が出席しました。

具体的な研修や窓口についての検討はこれからとなりますが、今後、PT・OT・STのリハビリ職がより一層連携を深め、協働して事にあたっていく必要性和方向性を確認しました。



(5月10日 3士会会議にて)

また、左記の3士会合同会議とは別に、昨年度末より千葉県内における災害に対して、関連団体（Dr・Ns・PT・OT・ST・介護支援専門員等）が連携し、災害準備・対策・支援を行うための組織化に向けた話し合いが進んでおり、今年度中には、災害リハビリについての合同研修会も予定しております。

当会におきましても、災害リハビリテーション委員会が発足し、災害リハビリに関する情報についてホームページ等を介してお知らせする準備を進めております。他団体の動きとして、OT 県士会からは下記の通り災害対策研修会についてのお知らせも届いております。他職種連携の一貫として、また災害リハビリについて知る機会としても、興味のある方は是非参加をご検討下さい。

平成27年度 千葉県作業療法士会 主催

### 災害対策委員発足記念 災害対策研修のお知らせ

以下の日程にて現職者共通研修を開催いたします。受講テーマを確認の上、参加申込みをお願い致します。  
災害リハビリに興味のある方は職種に関係なくご参加ください。

開催日時: 平成27年9月6日(日) 10時~12時

場所: 東京湾岸リハビリテーション病院 千葉県習志野市谷津4-1-1 TEL. 047-453-9010

資料代: 500 円

内容: ・災害リハを知ろう ・OTとしてできること ・被災地に行ったOTの体験談  
・県内の動き ・ボランティアとして参加する際の心得

申込方法: 下記メールアドレスに、OT会員番号、氏名、所属、連絡先、研修名をご記載の上、メールにてお申し込みください。

※OT 以外の方は、職種、氏名、所属、連絡先、研修名の記載をお願いします。

【宛先メールアドレス】[s.sakata@wanreha.net](mailto:s.sakata@wanreha.net)

東京湾岸リハビリテーション病院 作業療法科 坂田宛

【締め切り】平成27年8月31日(月)必着

【問い合わせ】何かご不明な点がございましたら下記の連絡先までお願い致します。

【連絡先】東京湾岸リハビリテーション病院 作業療法科 坂田祥子 TEL. 047-453-9010







## ◇ 学術局より ◇

学術局 酒井 譲

### 1. 第1回研修会報告

平成27年5月24日（日）に千葉市民会館で第1回研修会を開催しました。今回は、千葉県こども病院 耳鼻咽喉科の仲野 敦子先生をお招きして、ご講演いただきました。参加者は77名（会員66名、会員外10名、学生1名）でした。研修会の概要と、アンケート結果の一部をご紹介します。

#### 研修会の概要

演題：明日から臨床で使える「小児から高齢者までの聴覚障害について」  
～最新知見と言語聴覚士に求められること～

講師：千葉県こども病院 耳鼻咽喉科 部長 仲野 敦子 先生

概要：聴覚障害の障害像やスクリーニング検査、補聴器や人工内耳についてご講演いただきました。

初めに、蝸牛・蝸牛神経のCT画像をご提示くださり、早期に実施することが大切で、CTから得られる情報は数多くあるといったCTの有用性をご教示いただきました。



次に、遺伝性難聴の診断や具体的な難聴遺伝子についてご説明いただきました。先天性難聴の約半分は遺伝子が関与しており、それぞれの遺伝子（あるいは変異部）によって発症時期、進行性、前庭症状、随伴する症状が異なるとのことでした。千葉県の聴覚スクリーニング検査や制度の現状をご教示いただき、他県の事業もご紹介いただきました。千葉県では軽度・中等度難聴児への助成制度ができ、それまで自費で補聴器の購入をしていましたが、基準額の範囲で負担が1/3となっています。しかし各市町村による対応の

ため、実施状況には差があるとのことでした。

そして、乳児健診における注意点を、先生の体験を踏まえ詳しくご教示いただきました。新生児聴覚スクリーニング検査において、一側 refer の場合でも1割程度は両側性難聴であることや、両側 pass の場合でも両側性難聴といったことがあり得るそうです。1歳6か月児健診における聞こえの反応（見えないところからの呼びかけるとき・ささやき声で名前を呼んだとき振り向くか）や言葉の発達など気を付けてみていく必要があり、3歳児健診でも、後天性難聴の可能性もあるため、新生児スクリーニングが pass



であっても確認してほしいとのことでした。難聴があってもうまく行動できてしまい見逃されてしまうこともあるため、“様子をみましょう”で終わらず、精密検査を行ってほしいとご教示いただきました。

最後に、成人の難聴について主に突発性難聴と加齢性の難聴をご説明いただきました。難聴の治療については、原因診断が重要であり、伝音性難聴であれば手術で改善することもあるとのことでした。補聴器について、音は大きくなるものの、はっきりとしない

ことも多く、感音性難聴の場合、語音明瞭度は大きく変わらず、あらかじめ期待が高いと不満が出てきてしまうそうです。人工内耳について平成23年は手術時年齢2歳～3歳(対象7歳未満)が一番多かったとの報告を提示されましたが、近年小児人内耳適応基準の年齢・聴力の条件が変わり、より多くの難聴児が手術適応となっているとのことでした。講演後の質疑応答では、耳鼻科医との連携について、補聴器の助成制度についてなどで意見交換が行われ、最後に仲野先生から、小児難聴の早期発見を、また多くの高齢者難聴に補聴器を使用してほしいとのお話で締めくくられ、幅広い聴覚障害をわかりやすくご教示いただいた貴重な講演会となりました。

## ★アンケート結果★

### ① 研修会に参加して(回収：54名)

とても良かった：46名、普通：7名、期待していた内容と異なった：2名

とても良かった 具体的に：

- ・聴覚分野は苦手意識もあり、また関わる機会も少ないため、わかりやすく説明してくださりとっても勉強になった。
- ・難聴の精査に画像診断をする必要性がよくわかった。
- ・難聴遺伝子について改めて聞ける機会は少ないので、勉強になった。

普通 具体的に：

- ・成人～高齢者の難聴について、もう少し詳しく教えてほしかった。

期待していた内容と異なった 具体的に：

- ・講演後半の資料がもう少しあるとよかった。

②今後の研修会や当会の活動について、ご意見などがありましたらお書きください。

(以下の項目つき、回答を集計しました。)

形式：講演 44名、症例発表 20名、シンポジウム 9名、グループワーク演習 7名、  
相談会 5名、領域ごとの研修会 15名、その他 1名

具体的に：

- ・社会モデル、生活モデル的視点からのコミュニケーション支援、吃音の支援ができるネットワークづくり

内容：失語症 22名、高次脳機能障害 23名、摂食・嚥下障害 22名、  
音声・構音障害 22名、吃音 18名、言語発達障害 22名、  
聴覚障害 16名、認知症 17名、職場の悩み相談 5名、復職について 7名、  
子育てとの両立について 6名、接遇やマナー等 4名、その他 2名

具体的に：

- ・定期的に仲野先生の講演会をしてほしい
- ・失語症に対する評価・訓練、職業支援
- ・自動車運転の評価について
- ・障害告知の注意点や脳卒中後うつに対する対応の仕方について

## 2. 学術局より

[研修会を終えて]

研修会後の懇親会では、新人から経験年数豊富な先生方まで多くの方にご参加いただきました。その場におきましても、仲野先生を中心にご講演について、日々の臨床において等、活発な意見交換が行われ、また新人の方の自己紹介、ゲームなども催され、ふれあいのある会になりました。多くの皆様にご活用いただく機会となったことを嬉しく思っております。また形式を変えたアンケートでは、具体的に皆様からのご要望を抽出でき、今後の研修会の運営に生かしてまいります。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。皆様の臨床の一助になれますようお願いしております。





#### [研修会の症例発表者募集]

今年度の研修会での症例発表者を募集します。日頃の臨床で悩んでいる症例などありましたら、是非ご検討ください。皆様の積極的な提案をお待ちしています。当会ホームページにお問い合わせください。

#### 3. 「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。ホームページの「地域勉強会情報」をご参照の上ご参加ください。

## ◇ 第6回訪問リハ・地域リーダー会議報告 ◇

訪問リハビリ実務者研修会実行委員会 山崎勇太 小野幸男

去る平成27年5月21日・22日、お台場のタイム24ビルにて『第6回訪問リハビリテーション地域リーダー会議』が開催され、県士会代表として訪問リハビリ実務者研修会実行委員会の山崎・小野が千葉県理学療法士会、千葉県作業療法士会の各代表と共に参加して参りました。

1日目は、第1部「これまでの経緯と今後の活動方針」、第2部「地域ブロック制について」の各講義が行われました。

第1部では、1)活動・参加に結びつけるバランスのリハビリの提供 2)訪問リハビリ・介護予防事業を3協会、3士会が一つになって行政に働きかける必要がある 3)質の担保「今ある資源（特区）でベースを作る。拠点の整備」 4)今回の改正でただ退院をさせるのではなく、退院後どのような生活を考えた上での退院 5)本人のニーズを確認した上でのリハビリの提供 6)これからの介護予防は本人を取り巻く環境へのアプローチ、リハビリ専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進していく。と、実例を通し紹介がありました。また、茨城県のリハビリテーション専門協議会設立報告があり、介護予防事業・行政の要望によるセラピスト派遣等協力事業を行っていく3士会とは別に法人化した協議会との事でした。

2日目は、第3部「昨年度研修会の報告」、第4部「平成27年度実務者研修会について」の各講義が行われました。

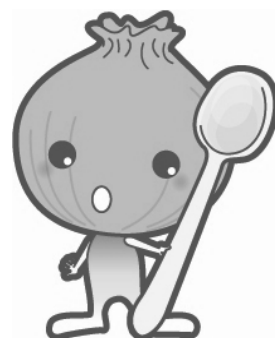
第3部では、訪問リハビリテーションの研修体系、実務者研修会の実施状況報告。また、神奈川県、千葉県、石川県の実務者研修会の報告がありました。千葉県からは千葉県作業療法士会の佐々木祐介氏より、BasicとAdvancedの2階層の利点・欠点についての報告をしていただきました。

第4部では、今後の取り組みとして実務者研修会と事例共有に関する3か年計画の紹介がありました。日本全国どこでも訪問リハビリテーションが受けられるよう、質・量・コンプライアンスを担保する事が目的との事でした。今までの「寝て・揉んで・擦って」とのイメージを拭払い、PDCAを用いた事例集を3か年でまとめ上げ、その成果を厚労省に報告するとの事でした。さらに生活期のリハビリにおいては活動・参加に繋がる目標設定・プログラムを行う事で訪問リハビリを卒業し、多様な通所等へ移行していく事が求められています。また、通所リハビリからの訪問や生活行為マネジメントの実施、会議が機能している事も必要となります。そのためには、セラピストが利用者様の価値観の転換を促していき、前向きな思考を持つようにしていく。またセラピストはストレングスの視点を持ち、活動・参加につなげるパ

パーソナル SWOT 分析にてアプローチの組み立てをし、利用者様の弱みを強みに変える必要があるとの事でした。そして研修の締めくくりには「活動と参加に向けた事例収集のための作戦会議」の議題でグループワークが行われ、それぞれのグループで活発な議論が交わされました。

今回の研修を通して、機能重視の考え方が自分も含め多い事、「活動・参加」にて考えていく必要さを改めて痛感する事ができました。生活期リハビリのより良い質・量・コンプライアンスの提供・存続のためにも、国や行政から求められている我々リハビリの役割・立場を全員に発信していかなければなりません。

3 協会では、平成30年度の医療保険、介護保険の同時改定に向け訪問リハビリステーション設立に積極的に行動を起こしており、「活動・参加」に向けたリハビリを提供していかないと壊滅的との話もありました。都道府県の中では地域に向けた協議会を設立している所も増えてきています。千葉県も3士会合同に地域に向けた取り組みを強化していく必要があると思います。今回の会議で得たものを実務者研修会実行委員会の活動に活かし、研修がより有意義なものになるように努めてまいりたいと思います。このような貴重な機会をいただき、有難うございました。





## 施 設 紹 介



我孫子市障害者福祉センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・竹中 啓介

当施設は、我孫子市が身体障害者福祉センターB型として昭和 55 年に設立した通所施設です。障害福祉の法律は、平成 15 年の支援費制度の施行以来、障害者自立支援法、障害者総合支援法と 10 年間に何度も見直しが行われてきました。当施設は、もともと身体障害に特化した施設でしたが、障害者自立支援法以降、精神障害と知的障害のある人等も受け入れるため、施設名称から「身体」を削除しています。

主な業務は、地域活動支援センター事業、基幹機能強化事業、障害者の社会参加促進事業、福祉の増進を図るための啓発活動、その他で構成されています。地域活動支援センター事業は、ST、PT、OT による訓練や創作的活動等のサービスを提供しています。通所者は、身体障害のある人が全体の 75%を占めますが、最近では地域との連携を強化した結果、知的障害（13%）、精神障害（6%）、重複障害（6%）のある人の利用が増えてきました。基幹機能強化事業は、市内の作業所へ専門職を派遣し、リハビリテーションの技術指導等を実施するもので、地域との連携強化に欠かせない事業になっています。障害者の社会参加促進事業では、失語症会話パートナーの派遣事業、中途失聴者・難聴者の方を対象とした手話・読話講習会、精神デイケアクラブなどの事業を推進しています。啓発活動では、失語症家族教室、絵画と書道などの作品展示を実施しています。

以上のように、近年では地域連携、対象とする障害の拡大、障害のある人の自立と社会参加の推進を重視しながら運営を行っています。

医療法人社団弥生会 旭神経内科リハビリテーション病院・・・・・・・・・・太田 直樹

東葛北部地区の松戸市にあります、87床の回復期病院です。入院患者は脳血管障害や頭部外傷、骨折の方が大半で、外来リハビリも行っております。また、法人内には通所リハビリ、入所施設も併設しております。

松戸市では、平成15年の時点で高齢化率14%を超え「高齢社会」に突入しており、平成30年には25%を越えると予測されており、当院入院患者様も高齢の方が大半です。

リハビリテーション部には、PT35名、OT18名、ST11名、臨床心理士5名が在籍しており、STは失語症、高次脳機能障害、構音障害、摂食・嚥下障害、認知症の患者様のリハビリを行っています。

当院は、千葉県の高次脳機能障害支援普及事業の地域支援拠点機関、東葛北部地域リハビリテーション広域支援センターが設置されており、STも担当スタッフの一員になっています。

また、認知症疾患医療センターや地域包括支援センターも設置されており、入院患者様には寝たきりや認知症予防として院内で行う「入院デイケア」を平成16年10月から取り組んでおり、個別訓練と合わせて認知症リハビリにも力を入れています。

各専門職員が連携しながら、「心技体」（心理、精神面での治療・リハビリテーション治療・身体疾患の治療）の医療を目指して行っています。

## 臨床こぼれ話

### ★★★ ST1 年目を思い出して ★★★

帝京平成大学  
野原 信

ST になってから 15 年目を迎えます。今は、ST の養成課程で教員をするとともに千葉県内で幼児期から思春期のお子さんを対象にした臨床を行っています。臨床現場では、支援の対象である子どもたちやその家族から、日々いろいろなことを学ばせてもらうとともに、先輩方や同僚のスタッフと共同して働いていく中で、臨床家として成長したところとしていないところ、また、感じにくくなってしまったところを理解し、「次からは、こうしてみよう」と考えながら、楽しく仕事をしています。

そのような、まだまだ ST として成長途上にいる私に話せることは本当に少ないのですが、今年 4 月から ST になった方々に対して、私の就職当時の経験を語ることで参考になることもあるかなと思い、書かせていただきました。

私が就職した当時は、今よりも就職先が少なく、希望領域や地域で就職先を決めるというより常勤で働ける場所があればどこにでも行くというような状況でした。その中で、運よく常勤 ST として千葉県内の重症心身障害児の入所施設に就職することができました。その施設はリハ部門を立ち上げたばかりで、ST 部門はもう一人新卒で採用になった ST と私の 2 人で立ち上げることになりました。

入職してすぐに、50 名の入所者に対する摂食嚥下機能の評価と支援方法について、アドバイスを求められました。国内にある同施設の共通課題となっている入所者の高齢化に伴う機能低下が、私が就職した施設の利用者の方々にもおこっており、最優先の課題でした。そこで、利用者一人一人の機能評価を行い、適切と思われる食事環境の調整にとりかかりました。

活動をはじめてすぐに、利用者と生活介助に入っている職員から様々な意見がでてきました。入所者のうち、数名は AAC を活用した意思表示が可能で、そのうちの一人の方から、「ST は評価に入らないでほしい。食事評価をされると、今のきざみ食を変えられてしまうことがわかっている。ミキサー食やペーストは食べたくない。」との訴えでした。一方、職員からは、「ST の指導方法通りに食事介助をしていたら、食事時間がかかりすぎて、その後の活動に支障がでる。」との訴えでした。食事終了後、歯磨き・排泄・余暇活動と流れがあるが、食事が伸びればその後の活動がすべて遅れ、結果として余暇活動の時間が短くなる、もしくは中止になってしまうと言われました。

その他、入職 1 年目にあったことですが、私が食事介助に入ってもなかなか食べてくれない、利用者によっては全く口を開けてくれず、食事をとってくれない。そして「〇〇さん、食欲ないみたいです」と言っていて、日常関わっている職員に替わってもらおうと、すぐに口を開けて食べ始めることがありました。その時は、利用者に対して申し訳ない気持ちと、他の職員に対して、迷惑をかけている・恥ずかしい・くやしなど、いろいろな思いが湧いてきて辛かったことを思い出します。

これらの経験の中で、私は「食事」を摂食嚥下機能という側面からのみ理解しようとしてしまい、食事に対する楽しみなど、ご本人の思いへ意識を向けることができていなかったこと、「食事」を介助によって行うことは、コミュニケーションの成立が前提にあり、互いの関係性を軽視した中では食事支援が成立しないことを理解することができました。また、「食事」を日常生活の中にある一つの活動として位置付

けることができず、利用者が生活している環境にそぐわない、実践困難な支援計画を考えていたことに気づかされました。

今になって思うことですが、初めて就職したのが入所施設であったこと、そしてS T部門の開設スタッフであったことは、良かった面も多くあったと感じています。前述したような経験から、障害をもった方々の日々の生活を知ることができ、S Tとして何ができるのかを考えることができました。様々な職種の人たちと関わり合う中で、多くの失敗、特に自分の思いや考えを相手にわかるように伝えることができない自分の能力の低さにくやしい思いもしました。しかし、一つの事象に対する多角的評価の重要性と、それらを統合して次の実践につなげていく楽しさも味わうことができました。

今年S Tになった方々の中には、4月から4カ月が過ぎ、若干息切れきみの方もいるかもしれません。S Tの仕事は楽ではありませんが、楽しい仕事だと思います。ちゃんと息抜きしながら、課題に向き合いその楽しさを味わってもらえたらと思います。

## 三三三 きこえに関するひとくちコラム 三三三

・・・聴覚障害委員会・・・

### 遺伝性難聴について その①

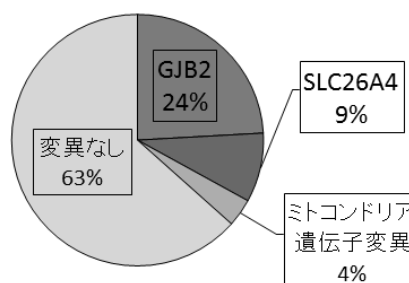
前回のコラムでは、難聴の原因と遺伝子診断についてご紹介しました。今回は常染色体劣性遺伝の原因遺伝子で頻度が高い2種類の遺伝子変異の特徴をお伝えします。

【GJB2 遺伝子変異】先天性難聴の約20%を占めます。GJB2 遺伝子変異の中でも変異の種類によって難聴の程度は軽度～重度までさまざまです。難聴の進行を認めることは稀で、随伴症状はないと言われています。遺伝子検査でタイプが分かることにより、介入法の選択(補聴器か人工内耳か)に有用な情報にもなります。

【SLC26A4 遺伝子変異】GJB2 に次いで頻度が高い遺伝子変異です。高音障害型感音難聴を示すことが多く、難聴は前庭水管拡大のため変動を繰り返し進行するのが特徴的です。高頻度でめまいの合併を認め、同時に聴力低下も伴うことが多くみられます。

また10歳頃から成人後にかけて甲状腺腫を発症するPendred 症候群の原因遺伝子でもあり、甲状腺機能も含めて定期的な経過観察が必要です。

先天性難聴の遺伝子診断





## ◇ 各委員会・作業部会から ◇

### ◎◎◎リハビリテーション公開講座実行委員会◎◎◎

#### 第9回リハビリテーション公開講座のご案内

『来て、見て、やって！いきいき健康講座』

日 時：平成27年11月1日（日）13時00分～16時00分

会 場：木更津市民総合福祉会館（木更津市潮見2-9）

内 容：医師による基調講演と、PT・OT・ST士会による介護予防体験コーナー

本会からは、『肺炎を予防しよう～あなたの嚥下力は？～』をテーマに、一般市民の方々に口腔機能や嚥下機能の評価を体験していただく予定です。詳細は、今後ホームページ等でお知らせします。当日お手伝い下さるボランティアも募集中です。

（古川 大輔）

### ◎◎◎生涯学習プログラム基礎講座・専門講座作業部会◎◎◎

今年度も、一般社団法人 日本言語聴覚士協会、生涯学習プログラム基礎講座・専門講座の千葉県版を実施いたします。基礎講座全ての6講座と千葉県独自の1講座、さらに専門講座1講座と全8講座を2日間でを行います。

専門講座は国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科の藤田 郁代先生による「臨床実習 ースーパービジョンと指導技法ー」を実施いたします。来年度、千葉県成田市に言語聴覚学科を有する4年制大学が開校し、県内施設での臨床実習の場を求められることが予想されます。今後の臨床実習を充実させ、県内でのST養成に役立て頂く意味もありこの講座を企画いたしました。

まだ経験の浅いSTから経験を積まれたベテランSTまで研修が可能なプログラムとなっております。

また、認定言語聴覚士の受講資格には生涯学習プログラムの修了証が必要です。

この機会に是非ご参加ください。

日 時：平成27年12月6日（日） ・ 12月20日（日）

会 場：千葉市文化センター（例年と会場が異なります）

詳しくは同封の案内状をご覧の上、当会ホームページから（申込み開始：9月14日）お申込みください。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

（斉藤 公人）

### ◎◎◎聴覚障害委員会・小児言語委員会◎◎◎

聴覚障害委員会と小児言語委員会では、今年度初めての試みとして合同で研修会および情報交換会を開催する予定です。テーマは「軽度難聴の早期発見とその対応」の予定です。詳細につきましては、県士会ホームページなどにてお知らせいたします。

（金子 義信）

## ◇ 事務局から ◇

### 年会費納入のお願い

\* 当会の年会費は前納制となっております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

正会員	3500円	準会員	3000円
賛助会員 1口5000円（個人1口以上、団体2口以上でお願いします）			

### 未納分について

\* 本年度は未納ゼロをめざします。平成25年度・26年度・27年度分の年会費のお支払いがお済みでない場合、期日を過ぎておりますので、未納分を合計した金額にてお早めにお支払いください。  
本会の規則により、2年以上会費未納の場合は退会とみなされますのでご注意ください。  
なお、退会後も未納分は徴収させていただきます。（例：正会員の場合：3500円×2＝7000円）  
納入済かどうかご不明な場合や、その他年会費に関するご質問がございましたら、県士会メールもしくは下記までご連絡下さい。

◇◇お支払い方法◇◇

#### 1) ゆうちょ銀行および他の金融機関からのお振込み

◇ゆうちょ銀行からのお振込の場合

払込取扱票に氏名、住所、金額をご記入の上で下記宛にお振込ください

（記号番号）00120-6-39932

（加入者名）一般社団法人千葉県言語聴覚士会

◇ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込の場合

（銀行名）ゆうちょ銀行 （金融機関コード）9900 （店番）019

（店名）〇一九（ゼロイチキュー店）

（預金種目）当座 （口座番号）0039932

（受取人名）イッパンシャダンハウジン チバケンゲンゴチョウカクシカイ

#### 2) ゆうちょ銀行口座からの自動引落とし

お手続きについては、当会ホームページをご覧ください。

《年会費に関するお問合せ先》

東邦大学医療センター佐倉病院 リハビリテーション部

治田（はるた）寛之 043-462-8811（代）

### 1. 入会のお誘い

当会に入会されていない方は、ぜひご入会くださるようお願い申し上げます。入会ご希望の方は、ホームページにて入会方法をご案内申し上げますのでご覧ください。また、お近くに未入会の言語聴覚士の方がいらしたら、入会をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

## 2. 迷子が増えています ～ 変更届についてのお願い ～

最近、迷子になって戻ってくる発送物が増えています。お手数ですが、氏名、住所や勤務先などに変更があるときは、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。変更届の様式は会のホームページよりダウンロードすることができます。ご記入の上、事務所へ郵送やFAXにてお届けください。また、変更届に限ってメールによる受付をしております。会からの情報がみなさまのお手元に無事届きますよう、ご協力お願いいたします。

## 3. 新入会員のお知らせ (敬称略)

会員数：正会員 373 名・準会員 20 名・賛助会員：7 団体

(平成 27 年 6 月 7 日 理事会承認分まで)

### ・・・正会員・・・

村田 圭 (船橋市立リハビリテーション病院)	小沢 駿輔 (船橋市立リハビリテーション病院)
秋田 美由紀 (君津中央病院)	植田 莉代 (船橋市立リハビリテーション病院)
三枝 亜矢子 (茂原中央病院)	齋藤 秀行 (介護老人保健施設ハートケア市川)
岡田 美咲 (セコメディック病院)	片貝 友美 (千葉中央メディカルセンター)
宮脇 智子 (平山病院)	柳田あすか (船橋市立リハビリテーション病院)
富永麻那加 (さかいリハ訪問看護ステーション船橋)	鈴木 貴子 (千葉市立海浜病院)
原田 紗稀 (おゆみの中央病院)	藤井 貴裕 (セコメディック病院)
菊地 絵里 (旭中央病院)	藤本 考司 (袖ヶ浦さつき台病院)
藤田 愛 (船橋市立リハビリテーション病院)	佐久間 真理 (船橋市立リハビリテーション病院)
山内 まなみ (新八千代病院)	渡辺 美琴 (船橋市立リハビリテーション病院)
田島 由莉子 (旭神経内科リハビリテーション病院)	奥瀬 寛子 (船橋二和病院)

(届出順)



## ◇ 理事会・委員会等議事録 ◇

### ◆ 平成27年度 理事会

#### 《第1回》

日時：2015年4月5日（日） 13時00分～16時30分 場所：黒砂公民館 和室

出席者：吉田、岩本、木村、鈴木、古川、宮下、渡邊（理事7名）、宇野、山本（監事2名）原田、星野（書記2名）

1. 協議事項：・各部・各局の議事録の承認について ・新入会員・退会者について ・総会資料について ・役員選挙、及び新理事について ・総会について ・平成26年度決算及び平成27年度予算について ・外来摂食嚥下訓練施設一覧の改訂について ・平成27年度第一回研修会タイムスケジュールについて ・学術局員推薦依頼分について ・千葉県失語症友の会協議会からの後援依頼について ・船橋在宅医療ひまわりネットワークについて ・第6回訪問リハ・地域リーダー会議について ・地域包括ケアシステムにおける三士会協働事業について ・千葉市地域リハビリテーション広域支援センター会議について ・千葉県介護支援専門員協議会代議員推薦について ・千葉県総合支援協議会専門部会委員の募集について

2. 報告事項：・監査報告 ・郵便物回覧

#### 《第2回》

日時：2015年4月26日（日） 13時00分～17時00分 場所：黒砂公民館 和室

出席者：岩本、木村、酒井、鈴木、古川、宮下、渡邊（理事7名）宇野、山本（監事2名）、鈴木、小松（書記2名）

阿部、小野、金子、治田、平山、宮崎（新理事6名）

1. 協議事項：・新旧理事自己紹介 ・各部・各局の議事録の承認について ・新入会員・退会者について ・平成27年度第一回研修会タイムスケジュールについて ・総会について ・第9回日本介護支援専門員協会全国大会 in 千葉の後援について ・県内訓練施設のHP掲載について ・地域包括ケアにおける三士会合同事業について ・住所録の管理について ・経費の申請方法について ・第二回全国研修会について ・選任書について ・新旧理事引き継ぎ

2. 報告事項：・郵便物回覧

#### 《第3回》

日時：2015年5月24日（日） 10時00分～12時00分 場所：千葉県市民会館3階 特別会議室2

出席者：吉田、岩本、木村、酒井、鈴木、古川、宮下、渡邊（理事8名）、宇野、山本（監事2名）、宮坂（書記）

阿部、小野、金子、平山、宮崎（新理事5名）

1. 協議事項：・各部・各局の議事録の承認について ・新入会員・退会者について ・第一回研修会タイムスケジュールについて ・総会について ・選挙管理委員の内規について ・委員会名簿について ・平成26年度第三回症例検討会の発表者について ・平成28年度総会・第一回研修会日程と会場について ・代表理事・副会長の選定について ・No.48ニュース構成案とスケジュールについて ・財務について ・総務部より

2. 報告事項：・郵便物回覧 ・事務所の契約更新について

#### 《第4回》

日時：2015年6月7日（日） 13時00分～16時30分 場所：黒砂公民館 会議室

出席者：岩本、阿部、小野、金子、酒井、平山、宮崎（理事7名）、宇野（監事）、井上（書記）

1. 協議事項：・各部・各局の議事録の承認について ・新入会員・退会者について ・協会アンケートへの回答について ・選挙管理委員会の委員交代に関する内規について ・委員会名簿について ・介護保険委員会勉強会の申し込み状況と広報について ・地域リーダー会議報告、ニュース掲載依頼について ・平成27年第一回研修会アンケート結果について ・日本言語聴覚士協会第二回全国研修会について ・生活期リハ案内文ニュース掲載依頼について ・介護保険

委員会「言語聴覚士がいる介護老人保健施設」訂正文のニュース掲載依頼について ・職能部よりニュース掲載について ・生涯学習プログラムについて ・理事会で使用している印刷物について ・平成 27 年度文化の日千葉県功労者表彰における表彰候補者の推薦について ・第四二回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の開催について

2. 報告事項：・日本言語聴覚士協会平成 27 年度定時社員総会について ・問い合わせについて ・郵便物回覧

## ◆ 平成 26 年度 渉外部 千葉県地域リハビリテーション協議会

日時：2015 年 3 月 24 日（火）古川、酒井

## ◆ 平成 26 年度 渉外部 船橋在宅医療ひまわりネットワーク

《役員会》日時：2015 年 3 月 30 日（月）出席者：山本

## ◆ 平成 27 年度 第 9 回リハビリテーション公開講座実行委員会

《第 1 回》日時：2015 年 4 月 15 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分 場所：千葉県理学療法士会事務所

出席者：岩本、神作、古川 千葉県理学療法士会 4 名 千葉県作業療法士会 3 名

・第 9 回実施要項 ・役割分担 ・準備スケジュール ・予算 ・周知方法 ・来年度について

《第 2 回》日時：2015 年 5 月 12 日（火）19 時 00 分～21 時 00 分 場所：千葉県理学療法士会事務所

出席者：岩本、神作、古川 千葉県理学療法士会 4 名 千葉県作業療法士会 2 名

・設置要領・会計マニュアルの改訂 ・講師 ・タイトル ・ちらし作成 ・来年度について

## ◆ 平成 27 年度 渉外部 生活期リハビリテーション合同研修実行委員会

《第 1 回》日時：2015 年 3 月 10 日（火）出席者：小野、山崎

《第 2 回》日時：2015 年 4 月 13 日（火）出席者：小野、勝又、吉田

《第 3 回》日時：2015 年 5 月 25 日（月）出席者：小野、山崎

## ◆ 平成 27 年度 学術局会議

《第 1 回》日時：2015 年 5 月 24 日（日）18 時 00 分～19 時 00 分 場所：ジョナサン千葉駅前店

出席者：荒木、柄澤、神作、木村（佐）、木村（知）、酒井、佐藤、竹中、小野、志賀、嶋田、関口、露崎

欠席者：原田

・平成 27 年度第 1 回研修会反省 ・日本言語聴覚士協会平成 27 年度第 2 回全国研修会について ・局員の役割分担、引き継ぎ

## ◆ 平成 27 年度 災害リハビリテーション委員会

《第 1 回》日時：2015 年 6 月 7 日（日）9 時 50 分～11 時 30 分 場所：ドトール常盤台店

出席者：平山、野口、栗林

欠席者：松井、渡辺

・今年度の活動目標について ・ホームページに掲載する災害リハ関連の情報について ・千葉県版 JRAT（C-RAT）の進捗状況について



## ◆ 平成27年度 小児言語委員会

《第1回》日時：2015年6月14日（日）10時00分～11時00分 場所：千葉県リハビリテーションセンター  
カンファレンスルーム

出席者：藤田、廣瀬、野宮、木村、金子

・役割分担 ・今年度の活動計画 ・今後の予定

## ◆ 平成27年度 聴覚障害委員会・小児言語委員会 合同委員会

《第1回》日時：2015年6月14日（日）11時00分～12時00分 場所：千葉県リハビリテーションセンター  
カンファレンスルーム

出席者：常田、高橋、黒谷、大壺（以上聴覚障害委員会）、藤田、廣瀬、野宮、木村、金子（以上小児言語委員会）

・合同研修会についての検討 ・今後の予定について

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

## お詫びと訂正のお知らせ

前回のニュースで発送いたしました、「言語聴覚士がいる介護老人保健施設」一覧表において不備がありましたので、ホームページにて下記の通り訂正いたしました。

誤：社会福祉法人 ユーカリ優都苑 → 正：社会福祉法人ユーカリ優都苑 ユーカリ優都苑

皆様にはご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます

介護保険委員会

2015年7月  
発売予定

## 言語聴覚療法習得のための 必須基礎知識

山田 弘幸 阿部 晶子 飯干 紀代子  
太田 栄次 北風 祐子 斉藤 吉人  
福永 真哉 池野 雅裕 吉村 貴子

エスコアール

今さらこんなこと質問できない、質問は苦手というあなたへ

# 言語聴覚療法習得のための 必須基礎知識

編・著：山田弘幸  
著：阿部晶子 飯干紀代子  
池野雅裕 太田栄次 北風祐子  
斉藤吉人 福永真哉 吉村貴子

B5判 約350頁 4,860円

本当は理解できていないのに、こんな簡単そうなことを質問するのは恥ずかしいという気持ちから、本来ならすべき質問を見送ってしまった経験はありませんか？本書は、基礎知識に自信がない養成課程の学生や言語聴覚士の方々に、言語聴覚療法に関わる重要基礎事項について、単なる丸暗記ではなく、内容を理解した上で身に付けていただくための学習ツールです。言語聴覚療法の専門的な学習に際して不可欠な基礎知識のうち、あまりに基本的で当然習得されているものと見なされがちにもかかわらず、実際には理解されていないことが多い項目を取り上げて解説しています。

### 基礎知識の充実のために

理解できないままに放置していた問題点をきちんと解決することができます。

### 図表を用いたわかりやすい解説

簡潔で平易な記述を心掛け、図表を豊富に用いてわかりやすく解説しています。

### 必要なページを素早く参照可能

索引や本文中に明記されている参照頁の活用によって、必要な情報を素早く見つけられます。

言語訓練用絵カード

アクトカード  
**ActCard**®

失語症者への言語訓練を目的とした絵カードです。高齢者が日常会話でよく使用する語彙の訓練や幼児・学童の言語訓練にも使用可能です。言語訓練装置ActVoice2を使用して、音声での訓練も可能です。



詳細はこちら

## ActCard 連続動作2コマ 第1巻

2015年7月  
発売予定

連続絵カードで、より幅広い言語訓練を



簡単なストーリー形式になった2コマの連続絵カードです。表面はカラーイラスト、裏面には文が記載されています。文は、成人向けの大まかな親密度順に並んでいます。文レベルの様々な訓練にご使用いただけます。

例 1 眼鏡を探していたら  
2 頭の上にあった

125×150mmサイズ 100枚  
9,720円

## ActCard イラストシート集 第1巻

NEW

複写・印刷が可能！ 言語訓練教材や自習教材に最適！



ActCard第1巻300種類のイラストを各シート10種類ずつ印刷してあります。イラストに対応する文字シートも付属しています。各シートにバーコードが印刷してありますので、ActVoice2とバーコードスキャナを使用するとイラストや文字に対応したヒントや答えを発声させることができます。ご購入いただいた機関で、入院や通院される失語症者に訓練を目的として使用する場合は、個人の方がご自身やご家族の言語訓練のために使用する場合は複写・印刷が可能です。A4判 60枚(イラスト30枚・文字30枚) CD-ROM付 8,640円

ActCardシリーズ 好評発売中 125×75mmサイズ 各300枚

第1巻 名詞絵カード / 第2巻 名詞絵カード / 第3巻 動詞絵カード / 第4巻 名詞絵カード ..... 各19,440円  
文字版1巻 (アクトカード第1巻に対応) ..... 15,120円

## NEW ActVoice 2

19,440円

これまでのActVoiceを全面的に見直し、使いやすさの向上、動作の安定化・高速化、低価格化を実現しました。



詳細はこちら

旧ActVoiceユーザー向け

## 無償贈呈キャンペーン実施中！

詳細はホームページをご覧ください。



言語聴覚士による、対面した失語症者への呼称訓練等の言語訓練場面や自習場面で使用できます。失語症者にご購入いただいたり、自習訓練用に病院等で複数台用意しておき失語症患者さんに貸し出すことにより、ベッドサイドや自宅で言語訓練が可能となります。購入前に一度試してみたいお客様へデモ機貸出サービスも実施中です！

- 特長
- 本機の使用で、失語症者の言語訓練が一人でも簡単にできます。
  - 絵カードの名称が言えないとき、本機に載せるだけでヒントや答えが発声するため、自習用教材としても最適です。
  - 本機からの発声速度を、「標準」と「ゆっくり」に切替られます。
  - オリジナルカードと音声が入ったCD-ROMを使用しています。



株式会社 エスコアール

<http://escor.co.jp>  
〒292-0825 千葉県木更津市畑沢 2-36-3

TEL: 0438-30-3090  
FAX: 0438-30-3091



● 上記の商品はホームページから送料無料でお求めいただけます。 ● 価格は消費税込みです。 ● 内容や発売時期は予告なく変更になる場合があります。



ゼリーの素

水に混ぜるだけ! ゼリーが手軽に作れます。

水分補給に Quick Jelly

## クイックゼリー

包装単位: 10g×36

アップル  
味ピーチ  
味「ひとくちめ」から  
幅広く  
サポートします。

はやい

水100mLに溶かして30秒間混ぜるだけ。  
3～5分後にはさわやかなゼリーができて上がります。  
水さえあれば、いつでもすぐに、食感のよいゼリーが召し上がれます。

かんたん

加熱や冷却が不要。  
外出先でもベッドサイドでも手軽に作れます。  
加熱調理や冷却のための時間がかからず、作り置きスペースも省けます。

食べやすい

均質で飲み込みやすいテクスチャー。  
離水がなく、温度による変化もほとんどありません。テクスチャー: 硬さ・付着性・凝集性など  
口腔内で知覚される  
食品の物理的性質

カプサイシン入りフィルム状食品

マンゴー味

## カプサイシンプラス®

カプサイシンの力で食事を楽しく!

U字の切れ込みが  
入っています。

## 特長

- カプサイシンは、トウガラシ(唐辛子)の成分です。
- 2枚で1.5 $\mu$ g(0.75 $\mu$ g/枚)のカプサイシンが摂取できます。
- 舌の上ですばやく溶けます。

## 使用方法

目安として2枚程度を口の中(舌の上)に入れ、  
全部溶けたらお食事をお楽しみください。

包装: 24枚×10

販売者  
株式会社 三和化学研究所  
本社/名古屋市東区東外堀町35番地 千461-8631  
TEL(052)951-8130 FAX(052)950-1861  
●ホームページ <http://www.skk-net.com/>



補聴器のご相談は安心できる

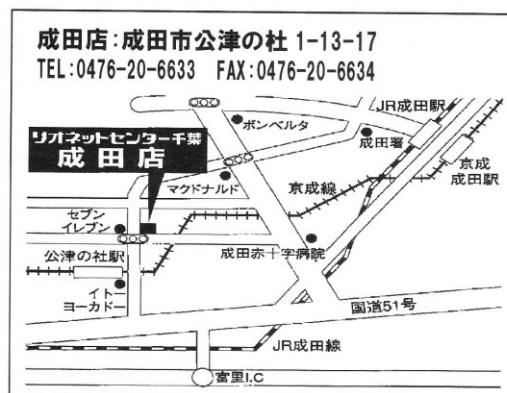
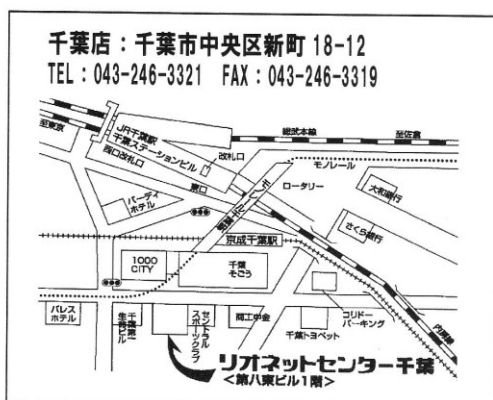
## 認定補聴器専門店で!!

認定補聴器専門店は「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器をお客様の耳に合わせるための設備機器が整い「補聴器の適正供給」の運用がされ「公益財団法人テクノエイド協会」が認定したお店です。つまり経験豊かで専門的な知識と技能を持ったスタッフが、様々な機器を使い、一人ひとりのお客様の聞こえの状態に合った最適な補聴器をご提供します。



認定補聴器専門店

### リオネットセンター 千葉



発行所：一般社団法人 千葉県言語聴覚士会

発行人：吉田浩滋

編集人：編集部 平山淳一

事務局：〒263-0042 千葉市稲毛区黒砂2-6-15 メゾン K102

FAX 043-243-2524

E-mail chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ：<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード：affordance

印刷：社会就労センター はばたき職業センター